

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

353

四季の郷公園管理運営事業（四季の郷公園）

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	1	農林業の振興
取組方針	4	農業と環境の共生

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	農林水産業費		
	項	農林緑花費		
	目	四季の郷公園事業費		
	大事業	四季の郷公園事業		
	中事業	四季の郷公園管理運営事業（四季の郷公園）		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 農林水産課 中兀 成浩 435-1049
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

		（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
事業目的	四季の郷公園（緑花果樹苑）利用者の安全確保及び施設利用の推進			四季の郷公園緑花果樹苑の管理運営を行う			
	事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
緑花果樹苑及びその各施設、設備の管理維持		緑花果樹苑及びその各施設、設備の管理維持	緑花果樹苑及びその各施設、設備の管理維持	緑花果樹苑及びその各施設、設備の管理維持	四季の郷公園の維持・管理運営/市民に憩いの場を提供		
地域振興イベント(まつりなど)の企画、実施		地域振興イベント(まつりなど)の企画、実施	市民にいきこの場を提供	地域振興イベント(まつりなど)の企画、実施	四季の郷公園管理運営事業（自然観察の森）と統合		
市民にいきこの場を提供		市民にいきこの場を提供		市民にいきこの場を提供			

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	28,276	27,654	28,079	28,114	33,240	32,574	31,434	0	0	0
伸び率（%）	△43.4%	△43.9%	△0.7%	1.7%	18.4%	15.9%	△5.4%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	7,753	2,078	2,497	2,578	2,389	2,230	0	0	0
	正規職員以外	2,446	1,354	1,301	1,301	1,236	1,236	0	0	0
	小計	10,199	3,432	3,798	3,879	3,625	3,466	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	242	564	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,048	964	2,209	622	6,531	3,839	7,002	0	0	0
一般財源（税等）	26,228	26,690	25,870	27,492	26,709	28,493	23,868	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.97	0.26	0.31	0.32	0.30	0.28	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	1.03	0.57	0.57	0.57	0.57	0.57	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	管理運営委託料28,295千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
イベント開催回数		回	目標値	3	3	3	3	28
			実績値	2	3	0		
			達成度(%)	66.7%	100%	0%	%	%
公園利用者数		人	目標値	100000	100000	150000	200000	200000
			実績値	84446	117880	150000		
			達成度(%)	84.4%	117.8%	100%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	公園利用者が増加傾向にあり、引き続き利用者が安全で快適に利用できる公園整備が必要である。
見直し・改善内容	公園利用者は増加傾向にあり、またリニューアルにより増加しうるインバウンドや幅広い世代のニーズに対応した管理・整備計画が必要である。